

様式2

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

学校名 鳥取県立鳥取商業高等学校

重点項目	地域を支える専門人材育成	提出日	令和5年4月13日
------	--------------	-----	-----------

1 学校目標	
地域の産業経済界をリードし活躍する人材の育成	
2 重点項目に係る目標・成果	
目標	成果
(1) 鳥商生としての自覚と誇りを持ち、自ら考え、判断し、行動できる力をつける。 (2) ビジネス社会及びグローバル社会に必要な力を身につける。 <数値目標> (1) 全商検定1級3種目以上取得者60%以上(3年卒業時) (2) 鳥商デパート売上1,300万円以上、来場者数1万人以上、お客様満足度95%以上	<数値結果> (1) 全商検定1級3種目以上取得者44.3%(74名、3年卒業時) (2) 鳥商デパート(保護者等限定公開)売り上げ:500万円 来場者数:1,936人 客単価:2,583円
3 実施事業	
【独自事業】 1 専門教育におけるリーダー育成とネットワーク構築事業 2 グローカルビジネス推進事業 3 鳥商デパート	
4 総合所見(成果・評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・数値目標(1)資格取得については、検定週間を増やし取得意識高揚を図った。全商検定1級3種目以上取得者は44.3%となった。直近5年間の平均は50.1%であり、最近の最高数値であった前年度(R3)の66.5%を基準に、数値目標を60%に設定したため未達成となったが、平年と同レベルの取得者を輩出することができた。コロナ禍で臨時休業等が続き問題が易化傾向にあった前年度と比較し、昨年度は新型コロナウイルス感染症が落ち着きを見せたのに合わせて問題が難化した影響もあった。 ・数値目標(2)について、鳥商デパートは鳥商教育の集大成であり本校最大の行事である。数値目標は通常開催できると考え設定した。公開対象を保護者等に限定したため数値目標は未達成となった。しかしながら限定公開となった令和2年度の来場者数962人、売り上げ374万円、令和3年度の来場者数1,455人、売り上げ542万円と比較すれば、概ね成果があったものとする。課題は客単価の低下である。過去2か年より約1,000円落ち込んだ。原因を分析し、改善を図りたい。 ・上記独自事業のうち1についてはコロナ禍で実施できなかった。 ・2のグローカルビジネス推進事業については、英語表現の授業において留学生を招き、出身国の文化や習慣について触れるとともに、その国について理解を深めることができた。また、留学生の来校時には生徒が校舎内を案内し、英語でのコミュニケーション力育成の場とした。 ○コロナ禍は本校の教育活動に大きな影響をもたらしたが、来年度はコロナ禍以前の教育活動ができるようになることが見込まれる。生徒ひとり一人がさまざまな場面での学びや経験を通して成長し、進路目標を達成できるように教員集団の智慧を結集し、鳥商教育のさらなるレベルアップを図っていきたい。	